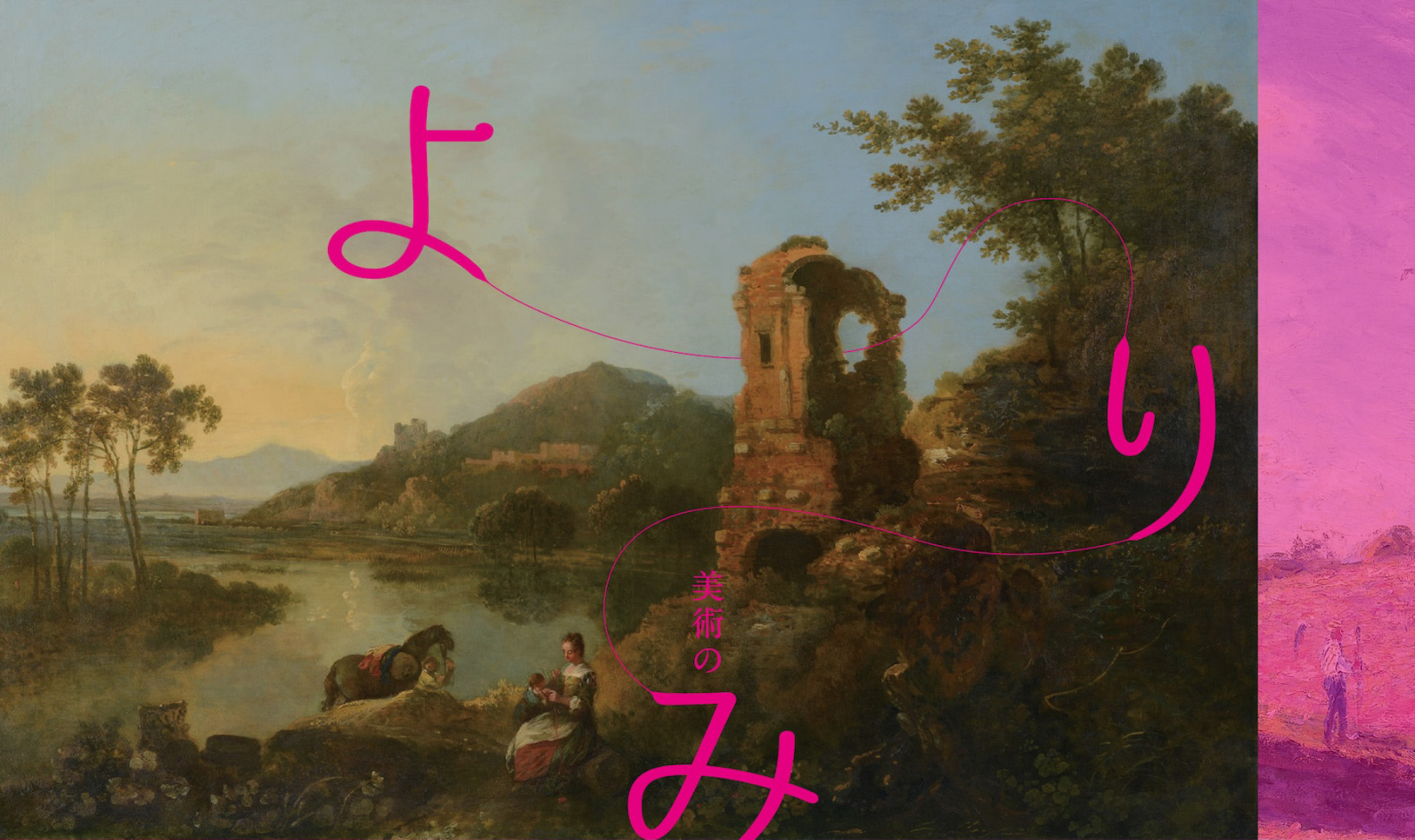




よ り み

リチャード・ウィルソン《キケロの別荘》
制作年不詳 郡山市立美術館

美術の

かたが広がるよもやま話

ち

美術の
新しい楽しみかたに
出会える！



展覧会マスコットキャラクター
ももわら



展

2025 7.19_[土] --- 11.9_[日]

〔開館時間〕 9:30 --- 17:00 (入館は16:30まで)

〔主催〕 公益財団法人諸橋近代美術館

〔後援〕 福島県、福島県教育委員会、北塩原村、福島民報社、福島民友新聞社、河北新報社、
福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM(順不同)

〔休館日〕
9月17日〔水〕
※状況により会期・開館時間が
変更となる場合がございます。

アルフレッド・シスレー《積み藁》
1895年 公益財団法人諸橋近代美術館

諸橋近代美術館

Morohashi Museum of Modern Art

美術の広さと面白さに出会う新しい“よりみち”体験を

本展は自由に会場を巡り“よりみち”をしながら、美術の世界の広さと面白さに触れる体験と空間を提供する展覧会です。美術館は多くの作品が鑑賞でき、鑑賞を通じて様々な歴史や文化を知ることができる知的探究の場であり、また自身の感性を育む場所でもあります。一方で「数層が高い」「予備知識がないと楽しめない」といった印象がまだまだ持たれているのが現状です。そこで、作品の本筋だけではない雑談や裏話といった、いわゆる“よもやま話”にもスポットを当て、作品をさまざまな角度からご紹介しつづけます。時には気になる作品の前に立ち寄り、時には鑑賞したい作品に戻ったり、作品との出会いを楽しみつつ、美術館という場所であなただけの“よりみち”を探してみたいはいかがでしょうか？

**“美術史”に
よりみち**



1

西欧の風景画は時代や風土などによって捉え方が異なります。特に18世紀以降、自然風景の本質とは一体何なのかが度々論じられます。印象派の画家たちをはじめとした次世代の画家たちにも多大な影響を与えた英仏の風景画家たち。彼らの作品から観る新たな美の規範とは…？

**“人物”に
よりみち**



4

**“技法”に
よりみち**



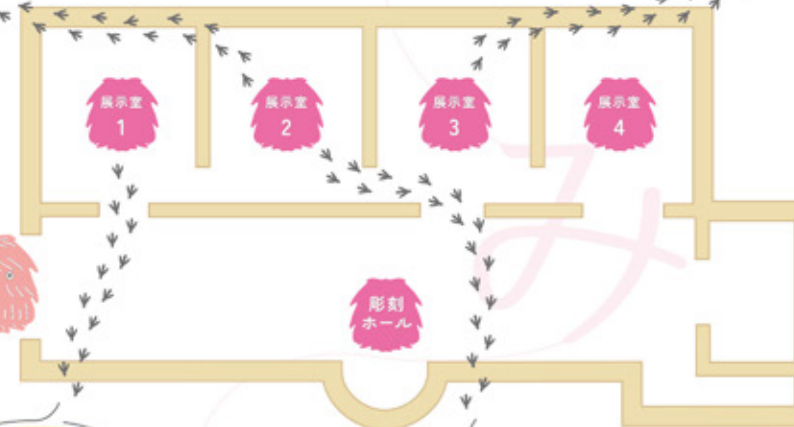
2

**“題材”に
よりみち**



3

エコール・ド・パリの画家ジュール・パスキンの作品は退廃、倦怠感、孤独感といった印象をもたらすが、その背景にはパスキンの私生活が大きく関わっていたことをご存知でしょうか。「モンパルナスの王子」とも称されたパスキンの衝撃的な一面とは一体…？



スペイン出身の芸術家サルバドル・ダリは1956年に不朽の名作『ドン・キホーテ』の挿絵を依頼されます。本作は実にダリらしい、我々では考えもつかないような驚きの表現方法を用いていたのです。一体どのような技法が使われていたのでしょうか…？

20世紀アメリカを代表する画家ベン・シャーン。彼は政治的抑圧や社会的差別に対して強く反発するような作品を多く残しています。本作は20世紀初頭のフランスで起きた「ドレフュス事件」を題材にした作品ですが、そもそも「ドレフュス事件」とは一体どのような事件だったのでしょうか？

- 1.リチャード・ウィルソン「アクア・アチエーサ」1754年頃 栃木県立美術館 2.ジャン＝バティスト＝カミュー・コロー「ヴィル＝ダヴレーの池（洗濯女たちと水飼場に来る馬）」1847年 栃木県立美術館
3.サルバドル・ダリ「風車への攻撃」(『ドン・キホーテ』より)1957年 公益財団法人諸橋近代美術館 4.ジュール・パスキン「帽子を持つ少女」1924年 公益財団法人諸橋近代美術館
5.ベン・シャーン「ドレフュス事件」(『ドレフュス事件』より)1930年(1984年刊行) 福島県立美術館 ※7/19～9/16まで展示

© Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí, JASPAR Tokyo, 2025 B0911 © Estate of Ben Shahn / VAGA at ARS, NY / JASPAR, Tokyo 2025 B0911

関連企画 よりみち展期間中、トークイベントやワークショップなどを各種開催！
情報は随時更新します。
展覧会ページをご確認ください！
詳しくはコチラ <https://dali.jp/archives/exhibition/11211>



館内はFree Wi-Fi!!
スマホで無料解説を
楽しもう！



作品解説アプリ「ポケット学芸員」がご紹介します。
事前にダウンロードし館内でお楽しみください。



よりみち展
～美術のみかたが広がるよもやま話～

2025年7月19日(土)～11月9日(日)
(休館日) 9月17日(水)

開館時間 9:30～17:00 ※入館は開館の30分前までとなります。

観覧料 一般1,300円(1,000円)、高校・大学生500円(300円)、
中学生以下 無料

※()内は20名以上の団体料金です。常設展の観覧料も含まれます。

※減免制度のご案内 / 学校・公民館でのご利用は特別料金でご利用できます。

(要事前申し込み・詳細はお問い合わせください。)

※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の提示で
所有者と付添者(1名のみ)は無料です。



※国立公園のたけのこ等の設置がございません。道中でお出くの際はご注意ください。

諸橋近代美術館

福島県郡山郡北塩原村大字松原字ヶ峯1093番23
TEL 0241-37-1088 URL <https://dali.jp>

交通のご案内

お車ご利用の場合(無料駐車場200台完備)

郡山 JCT 磐城自動車道 (約20分) 諸橋代 磐城自動車道 IC (約20分) 国道115号・459号経由 (約20分)

電車・バスご利用の場合

JR磐城西線 郡山駅 (約40分) 諸橋代駅 路線バス 五色沼・磐城高原行き (諸橋近代美術館前 / 入庫下車) (約25分)



English version from
this QR code

諸橋近代美術館